

誰か助けて(((SOS!)))



ナゴヤ コマルくん

ある日のこと、子どもが学校に行きたくないと
言っている。どうしたらいいのだろう...

不必要に原因・理由を聞かない

○「話したいことがあったら、いつでも聴くよ」

✕「どうして行けないの?」「何を考えているの?」

不登校の原因・要因は複合的なことも多く、自分で整理できていないこともあります。一番身近にいる親が質問で追い詰めないようにしましょう。



上記の内容は、初期段階の一例です。一人一人子どもは違います。
まずは学校の先生やスクールカウンセラーなどにお気軽にご相談ください。

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

常勤の心理や福祉の専門職が、さまざまな悩み・心配を抱える子どもや親を総合的に支援しています。

場所 すべての市立中学校(常勤)、市立小・特別支援学校(非常勤) 詳しくは、11月に市立小中・特別支援学校で配布されるチラシをご確認ください。

テーマは、不登校

まずは子どもの気持ちに寄り添って、聴く態勢を作りましょう。市では、さまざまな相談窓口も用意していますよ。



ふるた 古田 さん
教育委員会 子ども応援室

学校に行けない子どもを認めてあげましょう

○「無理せず一緒に考えよう」

✕「どうしたら学校に行ける?」

子ども自身も本当は学校に行きたいのかもしれませんが。不登校が続くと周囲の反応に敏感になり、期待に応えられない自分に自信が持てなくなります。まずは身近な人が認めてあげましょう。

不登校支援について
詳しくは市ウェブサイト→



ほかにもこんなサポートがあります!

どこに相談するか迷ったら… **総合相談窓口「ハートフレンドなごや」**

対象 市内在住の幼児～高校生と保護者

■ 電話相談：☎ 683-8222 <匿名での相談もできます>

日時 祝休日を除く月曜～土曜日 午前9:30～午後7:00(土曜日は正午まで)

■ 訪問相談：学校を通してお申し込みください。

■ 来所相談(予約)：☎ 683-6415

日時 祝休日を除く月曜～金曜日 午前9:30～午後5:00

■ メール相談：ホームページから相談できます。 詳しくはホームページ↑



子どもの状況に適した関係機関を紹介します

日常生活は問題ないが、
学校に行きたくないと... 言っている

朝起きられない。登校前
に... お腹が痛くなって登校できない

外に出られるけれど、
誰かに会うのが怖い

部屋に引きこもって
出てこない

